

## レベル分類と病床確保フェーズとの関係

レベル		状況	病床確保フェーズ ※1	レベルアップ基準 ※2	レベルダウン基準 ※2	具体的対策 ※3
4	避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルスへの医療に対応できない。		【レベル3→レベル4】 災害特別フェーズでの 対応も困難になったとき	—	
3	対策を強化するべき レベル	一般医療を相当程度制限しなければ新型コロナウイルスへの医療対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなる。	「災害特別フェーズ」 最大確保病床 2100床+400床 うち重症 210床+60床	【レベル2→レベル3】 フェーズ4に引き上げ	【レベル4→レベル3】 ①現在の入院者数が ピークアウト傾向 ②救急搬送困難事例数が 減少傾向	【医療提供体制】 ○一般医療の延期(通知による) ○入院基準をSpO2基準に変更 ○緊急酸素投与センター稼働 ○早期処方指針 ステロイド処方段階 【社会への要請】 ○ワクチン検査パッケージ停止
			フェーズ 4 最大確保病床 2100床 うち重症 210床			【医療提供体制】 ○一般医療の延期(医療機関裁量) 【社会への要請】 ○緊急事態宣言
2	警戒を強化するべき レベル	一般医療・新型コロナウイルスへの医療への負荷が生じているが、病床拡大により医療が必要な患者への医療提供ができています。	フェーズ 2/3 確保病床1300~1700床 うち重症130~160床	【レベル1→レベル2】 フェーズ2に引き上げ	【レベル3→レベル2】 フェーズ3に引き下げ	【社会への要請】 ○まん延防止等重点措置 【フェーズ3】
1	維持すべき レベル	一般医療が確保され、新型コロナウイルス医療にも対応可能。	フェーズ 1 確保病床 1000床 うち重症 100床	【レベル0→レベル1】 フェーズ1に引き上げ	【レベル2→レベル1】 フェーズ1に引き下げ	
0	感染者ゼロ レベル	新規陽性者ゼロを維持できている。	フェーズ 0 確保病床 120床 うち重症 20床	—	【レベル1→レベル0】 フェーズ0に引き下げ	

※1 病床確保フェーズの引き上げの考え方:入院患者数の増加傾向が継続し、各フェーズの確保病床の85%を超えることが想定される3週間前に上のフェーズに引き上げる。

病床確保フェーズの引き下げの考え方:入院患者数の減少傾向が継続し、仮に再上昇しても3週間の猶予があると想定される場合に下のフェーズに引き下げる。

※2 レベルアップ基準、レベルダウン基準については、上記表記載の基準を原則とするが、その他の要素を含めて総合的に考慮し、決定することとする。

※3 個々の具体的対策を講じる時期については、変異株の特性、新規発生患者・入院者数の状況等を総合的に考慮し、柔軟に対応することとする。